

# 中原消防団 広報誌

第23号  
平成29年2月  
発行  
題字 中田隆氏

# 翔太



## 平成29年中原地区消防出初式開催 防災は地域で守る 自助共助

### 年頭にあたり



中原消防団長  
小島 光儀

平成29年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。この一年が皆様にとって素晴らしい年でありますように心からお祈りいたします。



中原消防署長  
谷 芳之

### 年頭のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。平成29年の輝かしい新春を迎え、中原消防団の皆様にお祝いを申し上げますと共に、本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。また、中原消防署、中原消防団が中心となり、中原防火協会、中原消防研究会、

さて昨年の年末には、新潟県糸魚川市で発生した火災では、おりからの強風にあおられ、日本では約20年ぶりの大火となり、144棟もの家屋が焼失しました。中原区にも、住宅密集地や防ぎよう困難な地域があり、新潟のような大火になってしまふ可能性があるかもしれない。やはり、火事をおこさない、放火されない環境を整え、炎が小さい時に消火することが重要

中原ボランティア委員会等消防関係団体の御協力をいただき、中原区民が平穏で健やかに過ごせる一年でありますことを心より祈念いたします。さて、1月8日に開催されました新春恒例の中原地区消防出初式にあたりましては、これまでの穏やかな陽気とうつて変わりました。大変厳しい寒さの中、団員皆様様の御協力のもと、鈴木中原区長をはじめ、大勢のご来賓や多くの区民の皆様にご臨席いただき、盛大に行うことができましたことを、紙面をお借りいたしました。心より御礼申し上げます。

また、昨年の11月22日の早朝に発生した地震では、津波警報が発令され、テレビ各局が、避難を呼びかけるために、「今すぐ逃げてください。」と繰り返して放送していただき、私も6年前の緊張を思い出しました。私たち消防団は、いざという時の為に、普段から街の防災リーダーとして、中原区役所、中原警察署、中

です。

昨年を振り返りますと、熊本、鳥取地震及び台風等の自然災害が猛威を振るった年であり、年末には、新潟県糸魚川市で、強風にあおられ大火になった火災が発生し、多大な被害をもたらしました。中原区では、火災件数は大きな増減がなく、大きな火災や災害などもございませんでした。これも消防関係団体等の皆様や区民の皆様への防災に対する意識の高さではないかと思っております。いかがでしょうか。しかしながら、災害はいつ発生するかわかりませんが、発生した時に自分達がどのよ

うなことができるかを考えていく必要があります。そのためには、今まで以上に中原消防団と中原消防署が強固なスクラムを組み、25万人の区民を守るため、全力で災害対応できるように頑張ってくださいと存じます。また、中原防火協会、中原消防研究会、中原消防ボランティア委員会等消防関係団体に御協力をいただき、川崎市で一番防災意識の高い住民のいる中原区にしていきたいと思っております。結びになります。中原消防団の皆様が御健勝と御活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



原消防署と力を合わせて地域の安心・安全を築いていかなければなりません。さて、本年1月8日には、多くの区民の皆様とともに、新春恒例の平成29年中原地区消防出初式を盛大に挙行することができました。今回は、式典のほか、平間幼

稚園児による演技、住吉高校チアリーディング部によるパフォーマンス、消防団員による干支の引継ぎ、さらに消防団、家庭婦人消防隊及び自衛消防隊による一斉放水など、素晴らしい演技を披露していただきました。平成29年中原地区消防出初式は、我々中原消防団の誇りと気概の一旦を皆様にご覧いただけたことと確信しております。

結びに私たち消防団は、災害の無い住み良い街を目指して団員一丸となり、訓練を重ね、防火・防災に全力で尽くして参りますこととお約束し年頭のご挨拶と致します。

結びに私たち消防団は、災害の無い住み良い街を目指して団員一丸となり、訓練を重ね、防火・防災に全力で尽くして参りますこととお約束し年頭のご挨拶と致します。



消防署部隊





下沼部家庭婦人消防隊



中原地区婦人消防隊委員会



少年消防クラブと太助

平成29年 中原地区消防出初式



参加部隊の分列行進



演技後、平間幼稚園児へ記念品



表彰



一斉放水



消火ホースキットの紹介



干支の引継ぎ・大戸分団



女性消防団員募集中



「私たちと一緒に自分の町を守りましょー」



この研修及び訓練の目的は、大規模災害に備え女性消防団員等の知識と活動能力の向上、また合同で研修・訓練を行い県域で「顔の見える関係」を築くことにあります。

【池上団員の感想】 「それぞれの対応レベルは違いますが、各自の能力を発揮して行動しました。大きな災害発生時には、団員はもとよ

午前中は講義（講師・川崎市消防局 原尻賢司警防担当部長）、情報受伝達研修（トランシーバーの基本的な使い方）を行い。午後から合同震災対応訓練（体験研修）が実施されました。これは男性団員の多数が不在の平日昼間に震災が発生

し、女性消防団員等のみで災害現場に対応する想定で行われ、各グループに具体的な被害状況が与えられ、他のメンバーと共に訓練をしました。

- ① 地震発生後の情報収集及び住民避難誘導（津波地域）
- ② 倒壊家屋からの負傷者救出及び救護
- ③ 火災への消火活動等の訓練を実施。

り多くの地域住民と協力し活動する必要がある、正しい状況判断や的確な指示が出来るよう、今回の貴重な経験を活かしたいと思えます。そしてこれからも消防団員の自覚をもって、実技教養訓練をはじめ、地域防災訓練への参加、操法訓練のお手伝い等を行い技術の向上に努めます。皆さま今後ともご指導よろしくお願致します。」

県内女性消防団員等合同研修・震災対応訓練

平成28年11月15日(火)に神奈川県消防学校において、県が主催の女性消防団員等による合同研修及び震災対応訓練が実施され、県下約80名の女性消防団員等が参加、中原消防団から丸子分団・池上陽子団員と玉川分団・宮前尚子団員が参加しました。

この研修及び訓練の目的は、大規模災害に備え女性消防団員等の知識と活動能力の向上、また合同で研修・訓練を行い県域で「顔の見える関係」を築くことにあります。





# 川崎市消防救助隊発足 50 周年を迎え

中原消防団では実技教養訓練をはじめ災害対応訓練等を中原消防署救助隊員の方より指導いただき、日頃よりお世話になっております。今回、川崎市消防救助隊発足 50 周年の節目にあたり広報誌で取り上げさせていただきます。

平成 28 年 9 月、川崎市消防救助隊は発足 50 周年を迎えました。

昭和 41 年 1 月 9 日未明、川崎駅前にある地上 6 階地下 1 階の金井ビルで火災が発生しました。隣接する 5 階建てビルの屋上に駆け上がった消防隊員は、導入間もない 12 ミリナイロンロープを金井ビルに渡し、屋上に残り残された 7 名の市民を救出することができました。



昭和 41 年 三浦半島・鷹取山での訓練

しかし、この火災では死者 12 名、負傷者 14 名という未曾有の大惨事となり、この火災に出場した隊員の「なんとか救助できなかったか」という悔しい思いが、消防救助隊発足の契機となりました。

した。

金井ビル火災から 9 か月後の昭和 41 年 9 月 1 日、川崎市消防局において、救助工作車、32 メートル級はしご車、排煙車等の車両を川崎消防署に配置し、高層ビル火災や特に危険な場所での人命救助活動に万全を期することを目的に、厳しい訓練に耐え抜いた第 1 期生、20 名をもって川崎市消防救助隊は創設されました。

発足から現在に至るまで、市内においては蟹ヶ谷土砂災害での活動や、緊急消防援助隊発足契機となった阪神淡路大震災への派遣、出光興産北海道のコンビナート火災、東日本大震災による福島第一原子力発電所での放水活動など、私たちは、様々な災害に立ち向かい、多くの要救助者を救出し、進歩を重ねて参りました。

また、近年は、特殊災害（テロ災害・NBC 災害等）や、2019 ラグビーワールドカップ、2020 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた災害対応能力の向上も求められており、多種多様な災害に対応しな



救助隊初期メンバー



現在の救助隊員

くてはなりません。

しかし、原点は火災救助にあり、「なんとしても救出する。」という救助魂を忘れずに、川崎市消防救助隊は、これからも市民の皆さまの笑顔を守るため全力で災害に立ち向かっていきます。（川崎市消防局警防部警防課）

## 「隊章」



国際消防救助隊



国際緊急援助隊



消防航空隊



救助隊指導員



特別高度救助隊



特別救助隊

## 「署員の紹介」



高木さんと加藤さん

「中原消防署で非常勤嘱託員として働いています加藤です。私が署に入ったきっかけは、お友達の旦那さんが川崎市消防局の職員さんということで紹介をして頂いたことでした。最初は飛び交う消防用語に悪戦苦闘していましたが、今は優しい職員さんに助けられながら毎日楽しく働かせていただいています。

最近のマイブームはお料理教室に通うことです。運動はゴルフやランニングをたまにしています。

職員さんの手助けが少しでも出来るように、また消防団の皆様のお手伝いが出るように日々頑張りますのでよろしくお願いします！」

## 「消防団員募集について」

地域を愛する、多くの方々の参加をお待ちしています。

### 「入団資格」

・年齢が 18 歳以上で心身ともに健康な方

（性別は問いません）

・中原区に在住、在勤、在学する方

### 「問合せ先」

お近くにお住いの消防団員または中原消防署予防課庶務係までお問い合わせ下さい。

☎044(4)110119



★期待の星★

①生年月日 ②職業 ③入団のきっかけ ④抱負 ⑤趣味・その他

**新入団員紹介**

中原分団



山本 央 びさし

玉川分団



上野 貴 史 たかふみ

① S55・11・28 ② 会社員 ③ 地元  
の団員に誘っていただき ④ ま  
だわからない事ばかりですが頑  
張ります ⑤ ジョギング、ジム  
トレーニング

① S50・11・9 ② バス運転手  
③ 地域社会貢献のため ④ 微力  
ですが頑張ります ⑤ スポーツ観  
戦、娘の写真撮影

コスギンピック出場



平成28年10月21日(金) 23日(日)で「コスギフェスタ2016」が開催され、我が中原消防団も23日開催の「コスギンピック」に出場し、消防団及び団員募集のアピールを行いました。

競技は「ダンスング玉入れ」と「一網入魂 大綱引き」の2種目が行われ、合計ポイントで優勝チームが決定します。

中原消防団チームは2名少ない中、綱引きで一勝をあげて本選に進出。本選からは応援に駆けつけてくれた玉川分団・宮前尚子団員が参加してくれたおかげで、女性団員の存在も大いにPRすることが出来ました。

地域と消防

消防団ワークショップ

in 新城小



平成28年11月18日(金)に川崎市立新城小学校の体育館と校庭において、小学3年生の総合学習の一環として、地域消防団活動の紹介を、大戸分団の新城班で対応させて頂きました。

今回で連続11回目となり、息の長い活動となっております。事前に生徒さんが中原消防署の見学をした後の授業でもあり、署員と団員の違いを学ぶ上で、貴重な授業となっております。

内容的には、消防団の活動内容の説明、三角巾と担架を使って応急救護の体験、水消火器の使用体験、実際に放水する実践応用の操法の見学をしてもらい、最後に認定書を授与して終了します。

参加した小学生の感想で、「大きくなったら消防団員になりたい。」「消防団の人は仕事をしながら大変ですね。」との話を聞かされると、今後の消防団活動に、さらに邁進していかなければと身の引き締まる思いで一杯です。今後の地元の子供たちの将来のためにも、この活動を末永く続けていただけたいと思います。(大戸分団・井上荘一班長)

列伝

分団の人気者



大戸分団 井上 荘 一班長 (上新城町内会)

中原区で農家を営む井上 長は郷土芸能、小中学校の

地域と消防 水神祭

平成29年1月28日(土)多摩川調布の堰付近で水神祭が行われ、丸子分団・中原分団が参加しました。

この地域の2つの小学校で行われる多摩川ガサガサ体験の安全を祈願して日枝神社の宮司による祈祷お祓いの後、見物の方にとってのクライマックスは禊姿の方々による禊。消防団は川に放水してこのお祭りに華を添えます。



叙 勲

元・中原消防団警護部長の三橋良雄氏が平成28年秋の叙勲において瑞宝単光章の栄に浴されました。誠にめでとうございます。

PTA活動と多忙を極める中、中原消防団に入団し、町会防災訓練や、小学校WS、DIG活動等に、積極的に参加し防災啓蒙活動に貢献し、操法大会では、仕事で培ったバイタリティーで自らも鍛えつつ、後輩選手を育成し、大会技術の向上に努めています。どんなに自分が辛い時も、人柄がよく、明るい性格の井上 班長の周りには常に団員が集まり笑い声が絶えません。それが筆頭班長と謂われる所以でしょう。これからも大戸分団の先頭に立ち、地域の方々のために活躍される事と思います。(大戸分団・大場)

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第23号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者	小島 光儀
編集	中原消防団広報部
広報部長	佐藤 正義
中原分団	大橋 貞幸
大戸分団	小川 敏央
住吉分団	大場 隆
玉川分団	原 清郊
丸子分団	鈴木 正基
	田口 眞弓
	高橋 恒行
	野口 恭之
	大高 淳司
	山本 喜道